

うたづ議会だより

2013
第46号
5.1



ようこそ、北小学校へ！

4月10日、宇多津北小学校に新1年生116名が入学しました。

一人ずつ名前を呼ばれると「ハイッ」と元気に返事をし、横山校長と握手をしました。

北小の標語「げんき、きれい、いのち」も大きな声で言えたね！

Contents

平成25年第1回定例会	2～3
平成25年度予算	4
一般質問	5～8
研修報告	8
コンパクト議会サミット	9
元気ななかま・主な議会活動	10

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために様々な取り組みをしています。

ご意見等は議会へ

(匿名によるご意見等は受けすることができません)

平成25年 第 1 回 定 例 会



平成25年第1回定例会は3月7日から3月22日まで開催し、議案23件、諮問1件を審議し、全て原案を可決しました。また、一般質問は3月11、12日に行い、議論を交わしました。

主な内容

補正予算

・平成24年度宇多津町一般会計補正予算(第5号)

(3億4972万円)

全会一致で可決

- ・浜六番丁の町有地を売却
- ・土地開発公社所有のキッズプラザ駐車場の土地を購入
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・今市の家解体及び改修工事
- ・大門広場整備工事
- ・町民体育館耐震・大規模改修工事
- ・網の浦宇夫階線道路改良工事

※国の緊急経済対策としての「地域の元気臨時交付金」活用のため、前倒しして補正予算とする。

・平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

(4732万円)

全会一致で可決

25年度予算

・平成25年度宇多津町一般会計予算

全会一致で可決

- ・アートフェスティバル事業
- ・地域防災計画修正業務
- ・コミュニティ分館の耐震診断
- ・電算機総合システム改修
- ・活力ある地域づくり事業委託
- ・太陽光発電システム設置事業に補助
- ・町営住宅長寿命化計画業務
- ・スクールソーシャルワーカー派遣事業
- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・保健センター改修工事
- ・鴨田川ポンプ場修繕工事
- ・中央保育所改修工事
- ・宇多津北小学校床改修工事
- ・中学校体育館スクリーン設置工事
- ・ユープラザの空調設備更新事業

条例改正等

・宇多津町新型インフルエンザ等対策本部条例

全会一致で可決

(要旨) 新型インフルエンザ等の感染症の発生時に政府から緊急事態宣言がされた時、危機管理として設置する町対策本部の必要事項を定めた。

・宇多津町国民健康保険税の一部を改正する条例

全会一致で可決

(要旨) 今後の医療費の増大や医療の高度化で、財政運営が影響されるために提出された。後期高齢者支援金分の所得割率、均等割額、平等割額をそれぞれ増やした。

・ユープラザうたつの指定管理者の指定

全会一致で可決

(要旨) 一般財団法人「宇多津町振興財団」を平成25年4月1日から30年3月31日までの5年間、指定管理者とした。

本会議 議員の賛否

○. 賛成 ×. 反対 欠. 欠席 (議長は、賛否同数の時のみ可否を決定する)

主 な 審 議 案 件		西本	濱中	柴村	宮本	大松	池田	青木	藍川	井原
議案	平成24年度宇多津町一般会計補正予算 (第5号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成24年度宇多津町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成24年度宇多津町介護保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成24年度宇多津町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成24年度宇多津町下水道事業特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成24年度宇多津町水道事業会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町一般会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町はなの森墓地公苑整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	平成25年度宇多津町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	宇多津町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	宇多津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	欠	—	○	○
	ユープラザうたつの指定管理者の指定	○	○	○	○	○	欠	—	○	○

平成25年度予算

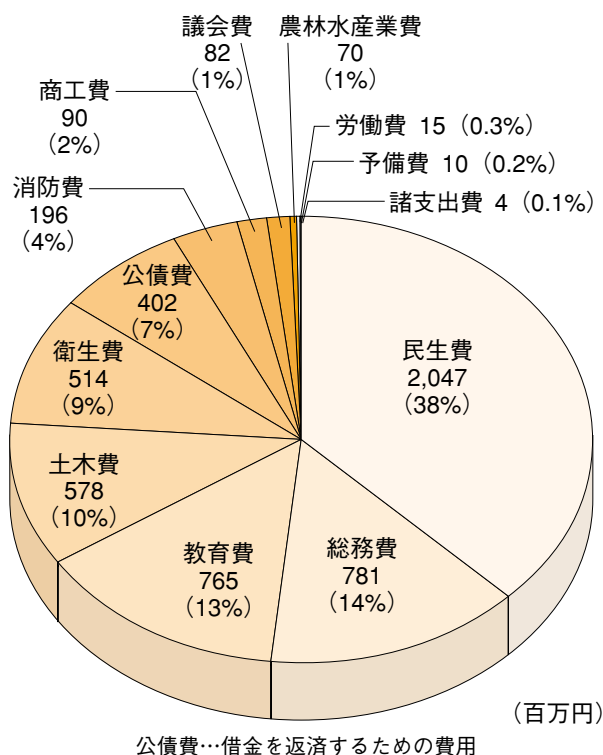
会計名		本年度当初予算額	前年度当初予算額	比較
一般会計		55億5,200万円	57億6,900万円	△2億1,700万円
特別会計	国民健康保険	15億1,300万円	14億2,000万円	9,300万円
	介護保険	8億9,400万円	8億9,400万円	—
	後期高齢者医療	1億4,700万円	1億4,400万円	300万円
	下水道事業	9億5,700万円	9億8,700万円	△3,000万円
	花の森墓地公苑整備事業	1,000万円	1,000万円	—

水道事業会計	収入	歳出
本年度収益的収入及び支出	3億6,100万円	3億5,300万円
前年度収益的収入及び支出	3億6,000万円	3億5,700万円
比較	100万円	△ 400万円

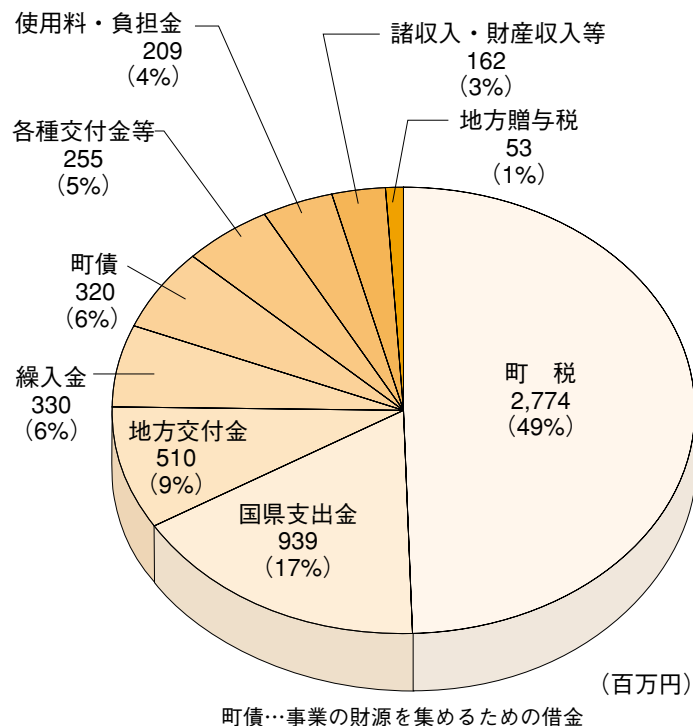
検証

一般会計 55億5,200万円の使い道

歳出



歳入



FB良品の品揃えと 今後の展望を伺いたい



西本祐子 議員

Q 12月から本町もFB良品に参入したが、これといった魅力的な商品がない。新商品の開発や品揃え、今後の展望はどうなっているのか。担当課長は兼任、課はイベント担当、課長や担当課の荷が重すぎないか。

A 谷川町長
FB良品UTAZUは1月23日、中四国で初めてで、全国で10番目にスタートを切った。商品については、独自性やインパクトのあるものを選定する必要がある。今後商品選定要綱を定め、まずは販売網を持たない中小零細企業などの販売助成、地域所得や町の知名度の向上を目的に進めていく。商工会や漁協、農協などの関係者の意見を聞くとともに、商品出品希望者説明会を行っていく予定である。職員や担当課の負担増については、業務を遂行できると考えている。

Q 子どもの食育とアレルギー対策について

A 宮本生涯学習課長
町内では小中学校の食育に力を入れていようだが、地産地消は進んでいるのか。調布市の小学校での食物アレルギーによる女児死亡事件後の新たな対策は。

町内の農産物は、生産農家が数件しかなく2100食分を賄うには確保が難しいこと、献立にあわせた生育時期が合わないことなどの課題がある。そのような中、町内のジャガイモは一部使用しているが、他の食材は香川県産をできるだけ使用している。県産食材の使用率は県平均を少し上回っており、今後さらに増やしていきたい。食物アレルギー対策は、調布市での事故後、再度各学校などに対し担任・栄養教諭・養護教諭それぞれに食物アレルギーを持つ子どもの情報を共通認識する調書の整備を指示した。町独自の対策マニュアルは、即座に給食場と各学校などに配布した。

子ども医療の更なる 助成について

Q 今の子ども医療の助成は小学三年生までである。更なる助成をして、子育て世代の経済的負担を軽減すれば、少子化対策や定住策にもつながる。出来れば中学3年生までお願いしたい。

A 谷川町長

子ども医療費助成は、少子化対策はもとより定住対策として意義のある施策のひとつであり、子どもを産み育てる環境整備は、町の未来の発展に繋がると考えている。町では昨年4月から年齢を拡大し、小学3年生までの子どもの医療費無料化を実施し、平成25年度も同じ要件で継続していく。中学3年生までの拡大については、町単独事業であるため財政事情も考慮しながら、今後検討していきたい。

Q 短期被保険者証について



濱中保夫 議員

A 馬場税務課長
世帯主が国民保険税を滞納したことにより、高校生世代以下は短期被保険者証が交付される。1か月、2か月、6か月と色々あるが、全員に6か月の保険者証を発行できるか。

保険税を滞納した場合の被保険証の取り扱い、これまで短期被保険者交付基準及び資格証明書交付実施要綱を施行し運用してきた。その間、法律改正により平成22年7月から18歳高校生世代以下が、資格者証明書世帯については、資格者証明書を代えて6か月の被保険者証を交付している。短期被保険者世帯は、短期被保険者証交付基準に基づき引き続き運用している。

共同浴場の設置を求める



柴村賢三 議員

Q 町内には地域住民の「この場所」としての共同浴場（銭湯）がない。

風呂の好きな人や風呂のない家庭では町外の銭湯に通っており、たいへん不便な思いをしている。「癒しの場所」としても浴場を待ち望んでいる。

A 高瀬保健福祉課長

現在、風呂のない方へのサービスとして町内施設のうたんぐらの風呂を利用してはいる。また、保健センターのシャワーもある。それらの利用は年々減少している状況であるが、共同浴場は風呂のない方への入浴提供と、高齢者や一人暮らしの方がそこで地域の出来事を話す憩いの場所でもあると思う。地域の憩いの場所としての機能を含めた共同浴場は、高齢化や核家族化また認知症の方への支援などを考慮すると、設置に向けて検討する必要があると考えている。

Q 主要施策の進捗状況は

昨年、町長の所信表明で掲げた主要な施策（4項目）の進捗状況を伺いたい。

A 谷川町長

昨年の所信表明で大きく4項目を掲げた。共に助け合い安心して暮らせる町づくりでは、子ども医療費助成の対象年齢を拡大し、安全で快適な環境に囲まれゆとりと潤いのある町づくりでは、太陽光発電システム設置に対する補助、危機管理課の設置や自主防災組織への資器材支援などを行った。豊かな心を育む希望のある町づくりでは、保育所・幼稚園・小中学校の連携を継続し、新たな教育理念として宇多津教育ソリューションシステムを作成した。また、幼稚園や小学校の改修工事も実施した。新たな発展を図る元気な町づくりでは、商工会と連携して地域商品券を継続して発行し、3社の企業誘致も実現した。その他、多くの項目を掲げたが順次計画どおりに進んでいる。

エレベーター防災備蓄ボックスの設置は



宮本 隆 議員

Q 町内にもエレベーターを設置している建物が増え、エレベーターに乗っている際に地震が発生し、閉じ込められる可能性もある。少しでも安心して利用できるよう「エレベーター防災備蓄ボックス」を設置しては。

大規模地震ともなれば震源域に近い地域では、地震の揺れも強くエレベーターへの被害も予想され、乗降者がエレベーター内に閉じ込められる可能性もある。その場合には、自力での脱出は難しく救助隊の到着を待つのが実状でないかと思う。その際、水や非常食などが入ったエレベーター防災備蓄ボックスは命を繋げる観点から非常に有用なものと考えている。防災や減災に繋がる準備は非常に広範かつ多種であり、エレベーター防災備蓄ボックスも準備する施策の一つとして検討したい。

A 中村危機管理課長

Q 指定ゴミ袋の形状改善は

住民の方々から小・中は結びやすいが、大は結びづらいとの意見がある。大の袋は指先に力が必要で結ぶのが大変。小・中と同じ形状だと便利で使いやすいが、改善は可能か。

A 谷川町長

ごみ袋の値下げは平成23年3月議会会で否決され再度6月議会会で提案し、賛否両論の中、僅差で決した経緯がある。反対理由として大事な財源ではないかとの指摘もあり、平成24年度に新たな素材で製造するなど、全体で原価を35%減額することができた。ごみ袋の形状を変えることは可能であるが、現在の大の袋に括りしろを作ると原価が高くなる試算が出ています。財源の指摘がある中で、原価の削減に鋭意取り組んできたが、形状を変えることによって現在より原価が上がってしまうことをご理解いただきたいと思います。

人間ドックの実施医療機関を増やせないか



大松喜次郎 議員

Q

現在の医療機関は2か所である。病気のデータが蓄積されている総合病院でできれば、二次検査の二度手間解消や費用減になるのではないか。

また、検診者数が伸びていない要因は何か。検診期間の短さも要因ではないか。

A

山下健康増進課長

現在国民健康保険加入者40歳から64歳までの被保険者に対し、2か所の医療機関で人間ドックを実施している。提案の実施医療機関数の増については今後検討したい。受診者数が伸びない要因ははっきりわかっていない。受診期間は、短い期間で集中的に実施した方がより効果的で、長ければ間延びするとの意見もあるため、今後研究していきたい。

他に「特小」「ミ袋の必要性」について質問をしました。

Q

統括監制の導入で何が変わったか

24年度から、事務統括監・事業統括監という役職ができた。専決事項は町事務決済規程にあるが、課長との兼務の両統括監はどのような業務を行い、実績として改善された点はあるのか。

A

谷川事務統括監

事務統括として窓口業務や電算業務に関し、総務課・税務課・住民生活課・保健福祉課・健康増進課・出納室で連絡会を行った。その結果、スムーズな業務ができるよう1階の事務スペースの配置を改善した。また、今年度更新する電算業務で横の連携を図りながら取り組むことができた。

A

北本事業統括監

事業統括として建設事業に関し、政策調整室・建設課・産業振興課・水道課で事業課連絡会を行った。また、公共施設の更新計画などに、関係事業課で協議した。統括監制の導入により、連絡会の責任者が明確になるとともに、各課の情報が共有でき互いに協力することによって、工事期間の短縮などができた。

企業誘致促進策の方向転換を



藍川佳津樹 議員

Q

企業の撤退や契約不履行で自治体の企業誘致が曲り角にきている。十二月議会で継続審査となった企業誘致条例だが、現存の企業が根付く助成制度を加えて、制度強化を図り再提出してはどうか。

A

谷川町長

多くの企業が生産基盤を海外に転じており、企業の経済環境は全国的に厳しい状況である。そのような中、企業誘致促進策についても曲がり角にきていると認識している。町の企業誘致に関する助成は、初期投資に資するものとなっているのが現状である。提案の既存企業に対する助成については、既存企業が存続できるよう研究する必要があると考えている。今後様々な情報を収集しながら調査・検討していきたい。

他に「補助金および委託事業等支出金の会計管理」について質問をしました。

Q

小型家電リサイクル法への対応

四月一日より施行となるこの法律は、資源小国日本が、希少金属を再生利用するためのものだが、参加不参加等自治体の裁量に委ねられる部分も多い。わが町はどのような対応をとるのか。

A

藤原住民生活課長

法律の中の努力規定で市町村の責務として、機器の収集と再資源化のための引き渡しが規定されている。現在国において小型電子機器等のリサイクルシステムを確立するため実証事業を募集している。この事業は、新制度の円滑な制度の実施と効果の検証のための調査事業であり、町も応募する。4月末に実証事業への参加が決定されれば、7月から8月にかけて住民周知を行い町内に回収ボックスを設置し、9月から収集を開始する予定である。回収ボックスは、町役場、ユープラザうたづ、やすらぎプラザの3か所に設置し、資源ごみと同じく無料で回収したい。

「為せば成る」北小学校 の石碑除幕式挙行

Q

町内出身の大松監督が指導した東洋の魔女が東京オリンピックで金メダルを獲得した。この語録は三千年前に中国の古典や書経で晏子春秋や孟子、日本では上杉鷹山等の絶唱歌詩をアメリカ大統領のケネディが翻訳で国の政治指針にしたりなど共通の考えがある。縦横約2mの石碑を小中学校に次いで北小学校にも創立20周年記念で建立した。卒業児童146名と町長、議長、教育長、校長で除幕式を挙行した。説明看板を要望する。



A

谷川町長



井原猛雄 議員

名誉町民である大松博文氏は、東京オリンピックで女子バレーボールチームの監督として金メダルへ導いた際に、練習などで「為せば成る」の名言を発せられた。このすばらしい言葉を大切にするため、これまで宇多津小学校と宇多津中学校に石碑を建立していた。このたび井原議員からの提案もあり、大松杯バレーボール大会の第20回を記念して宇多津北小学校にも石碑を建立した。これで町内の小中学校すべてに設置を完了したことになる。石碑の説明看板などは、今後検討したい。

他に「小中学校空調設備運用方針」と「仁池冠水問題」について質問をしました。

「香川県町議会広報編集委員の県外研修」

1月29日（火）議会広報編集委員等48人が高知県高岡郡越知町へ広報紙「町議会だより」についての研修に行きました。

越知町の「議会だより」は発刊してから102号となり、広報全国コンクールにおいて平成17年に奨励賞を受賞してから7年連続で入賞しているという輝かしい広報紙です。

「うたづ議会だより」についても改良面を指摘されましたので今後も検討しながら、より多くの町民の方に親しんでもらえる紙面づくりに努めたいと感じた有意義な研修でした。



一 「議会だより」の目的

会議公開の原則に基づき、議会活動全般を公正で客観的に捉え、町民にわかりやすく読みやすい内容で伝えること。

二 編集・校正など

- 1 表紙は発行時期の行事等明るい雰囲気の写真で動きのある写真であり、見出しは具体的な内容にする。
- 2 変化のある紙面レイアウトを心がける。
- 3 校正は、用語、文体、数字等はできるだけ統一する。
- 4 平易な文章でわかりやすく表現し、予算、決算は円グラフで表示し、専門的な用語には解説を付ける。
- 5 見出しは文中から抜き出し、内容が一目でわかるようにすると共に写真を多くして内容の説明を入れる。
- 6 議員の写真は紙面の内側向きとする。

三 方針

説明後、活発な質疑、意見交換等が行われ、読む人の側に立った編集姿勢を心がけ、一般質問・地域の身近な話題、住民参加の欄などを取り入れるよう企画する。

第四回全国コンパクトタウン議会サミット

徳島県北島町

基調講演

4月18日に開催され、全国各地から13町の議員と関係者約70名が参加しました。初めに「コンパクトだから輝くまちづくり」と題して、新潟県立大学准教授 田口一博氏による基調講演が行われました。

1. コンパクトタウンの大切さ
小中学校を作るために明治、昭和の合併が行われてきたが、平成の合併では補助金につられて合併が進んだ。
2. コンパクトタウンの議会とは
住民が参加して意見を述べやすい。
3. 輝くまちづくりのための議論
行政がやろうとしていることを精査する。議事機関として、住民の声を直接聞く努力をし、住民参加の議会を目指す。

議会改革

- ① 議会基本条例
本町や岐南町のようにすでに制定している町の他は、検討中や準備中。
- ② 議会報告会
条例がなくても実施しているが、どこも参加者数が伸び悩んでいる。こちらから出向いていく出前報告会は有効。全PTA、全自治会に案内を出しているところも。
- ③ 議会だより
一般質問の答弁部分もできれば議会主導で行うべき。住民に読んでもらうために子どもの書いた「題字」を使用したり、子どもの記事を多く載せているところもあった。コンクール入賞の町での研修は有意義。
- ④ 一般質問
殆どが一問一答方式を取り入れている。日曜議会、夜間議会をしても参加者は増えないが、動画配信をしたら結構見えた。事前に答弁書をもらうと議論が深くなる。
- ⑤ その他
議場見学会を開いたところ、好評だった。子ども議会は勿論、女性議会を行っているところも。通年議会を検討中のところも。安易な定数削減は危険。

協議会の発足

コンパクトタウン議会サミット協議会の発足について、協議しました。最初に会則に付いて（組織・名称）は、全国コンパクトタウン議会サミット協議会と称し、全国の面積が約20平方キロメートルの町から参加意志のある議員で組織する。（目的）は、議員が一堂に会し、町の抱える重要課題を研鑽・意見交換・審議し、元氣溢れ個性豊かな町の振興と住民福祉の向上のため全体が結集し活動する。その他、会則第8条までを協議決定しました。

毎年集まって終わりではなく、連携を取り政策提言できる団体を目指すこと、災害協定等の締結、各県の町村議長会との関連などについても協議しました。議会全体として、また党派や個人での参加など各町により状況は異なります。次回開催地については、前回参加の久御山町と今回初参加の大山崎町（京都府で隣町）との合同開催となりました。コンパクトタウン議会サミット協議会の初代会長に青木義勝議長が選出され、最後に協議会が更に伸展することを意志決定しました。

防災減災

議員の災害時における行動マニュアル、災害備蓄、備品庫の新設、デジタル無線機の配備、がれき収集と運搬の管理、防災組織の見直し、避難所の耐震化、防災訓練の実施、津波ハザードマップ作製、防災士の養成、広報車に大音量スピーカーを設置等を各議会が取り組んでいました。各議会での課題は、全住民にいかにして自主防災組織に参加してもらい、自助、共助、公助を合言葉に被害者0（ゼロ）を目指すことです。

宮城県七ヶ浜町では、がれきを分別収集しないで1か所にまとめていたために、火災が発生しなかったそうです。分別した自治体は、微生物が発生して火災が起きたそうです。



元 気 な ほ か ぎ グ ル ー プ 紹 介

男の館「やろう会」

「やろう」会を立ち上げて2年になります。初めは4、5人の集まりでしたが、会員の皆さんの口コミで、今では25人前後の人が集まるようになりました。やろう会は男性だけの集いです。名前の通り、色気も何もありませんが、会員さんが持ち寄る趣味で、楽しく遊んでおります。囲碁将棋を始め、カラオケ、手品、卓球、ミニボウリング、健康器具から頭の体操、とんち教室まで幅広く行っております。開催日は第3日曜日の午前9時から11時まで、場所は福祉センター1階の大広間。好きな時間に来て、好きな時間に帰って結構です。遊びに飽きたらお隣の「日曜サロン」（女性のおしゃべりの会）で、昔のお嬢さんと井戸端会議を楽しめます。ご夫婦で来られた方は、奥様を日曜サロンへご案内し、お帰りの際はお二人で仲良く帰って頂いております。とかく人の寄り合う処は女性が多く、男性から戸惑いの声が聞かれます。それなら男性グループもあっていいので

はと思い、洒落のつもりで始めたのが「やろう会」です。遊び心で始めた会ですが、ただ椅子に腰かけ皆の催しを眺めている方がおられました。不思議に思い話をしてみると「皆さんといられるだけで楽しい。」と嬉しい言葉が返ってきました。ある時、私事ですが、1冊のノートに自分の投稿記事を集めて持っていました。投稿者が私だとわかると「あんだでしたか。」とにっこり笑って帰られました。「袖触り合うも多生の縁」といいますが、この小さなグループも3年目。「石の上にも三年」という言葉通り、皆さんの期待に応える、元気な会を続けます。



主な議会活動

30日	23日	19日	18日	16日	2日	1日	4月	29日	28日	22日	21日	19日	18日	14日	13日	12日	11日	7日	4日	3月	28日	19日	17日	13日	5日	2月
第一回臨時会	議会運営委員会	サミット（徳島県北島町）	第4回コンパクトタウン議会	広報委員会編集会議	定例議員総会	教職員着任式		教職員離任式	企業視察	広報委員会編集会議	全員協議会 本会議	建設教育常任委員会	総務民生常任委員会	総務民生建設教育合同委員会	総務民生建設教育合同委員会	一般質問	一般質問	第1回定例会	全員協議会		議会運営委員会	子ども議会	平成相聞歌受賞式	議会運営委員会	定例議員総会	

第6回 議会報告会を開催します

とき

平成25年5月15日（水）

ところ

保健センター4階

午後7時（受付6時半～・終了予定8時半）

今年度の主要施策の説明をします。フリートークもあります。

みなさまのご参加をおまちしています!!